

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年2月5日
長崎市立畝刈小学校
学校だよりNO. 126
校長 田中 成年

<子供ど真ん中教育>

～学校評議員会(評価委員会)～

1月28日(火)に学校の味方である学校評議員・評価委員のみなさまにお集まりいただき、学校の現状をお伝えしたり、2学期末に行った学校評価アンケートの結果についてお伝えしたりして、畝刈小学校のより良い教育活動のためにご意見をいただきました。

<いただいたご意見やご質問>

- 子供たちがよく挨拶をしている。
- 保護者の評価が上がっているのは、学校だよりを通して様々なことを知ることができるし、25%ルールやCCQを徹底することにより、よりよい関係を築くことができているからだと思う。
- 家庭学習の状況についてはいかがでしょうか。
- クロムブックを使った宿題はどのくらいの頻度で出していますか。
- いじめはありませんか。
- 支援が必要な児童が増加しているが、子供たちへの授業対応はどのように取り組まれていますか。

「**子供ど真ん中教育**」を進めている学校としては、子供たちの頑張りを認めてくださる、とても励みになる心強いお言葉もたくさんいただきました。

さらに、「**学校でできること、家庭でできること、地域でできること**」をともに考えながら、未来を切り拓き活躍する子供たちの将来のために、ともに手を取り合い頑張っていかなければいけないと確認をしたところでした。

学校評議員・評価委員のみなさま、お忙しい中ありがとうございました。

「やるばい！あぜかい！！」